

生 活

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	生活 117 118	A 4 252	令和5年
4	大日本図書	大日本◆	生活 119 120	A 4 268	
11	学校図書	学 図◆	生活 121 122	A 4変型 272	
17	教育出版	教 出◆	生活 123 124	A 4 260	
26	信州教育出版社	信 教◆	生活 125 126	A B 232	
38	光村図書	光 村◆	生活 127 128	A 4 264	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	生活 129 130	A B 286	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

生活

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
14冊	東書、大日本、学図、教出、信教、光村、啓林館

2 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに、豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。」という教育理念を踏まえ、小学校から中等教育学校までの12年間を一体として捉え、児童・生徒の発達等に応じて柔軟な教育課程を編成する。

【生活における学習指導の展開】

- (1) 探究的な活動や体験をとおして、社会や自然の面白さ、不思議さに気付き、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、関わり等を理解させるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる。
- (2) 自分自身や自分の生活について考え表現できるように指導する。
- (3) 周りの人や社会、自然に働きかけ、生活を豊かにできるように指導する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠
a 自ら課題を設定する力の育成につながる課題の扱い	都立小中高一貫教育校教育内容等検討委員会報告書 第2章 令和5年度都立立川国際中等教育学校附属小学校教育課程に係る基本方針
b 日本の伝統・文化の扱い	同上
c 学び方や調べ方の扱い	同上

※調査研究項目を設定した理由

- a 「令和5年度都立立川国際中等教育学校附属小学校教育課程に係る基本方針」（以下、「基本方針」という。）「1（2）教育方針」の一つとして、「自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。」としている。また、「3（2）各段階で育てたい力」では、第1学年～第6学年（小学校）の育てたい力の一つとして「体験から課題を見いだす力」としている。さらに、「7（1）カ 生活」の一つとして、「日々の暮らしや自然に関して不思議を感じたり、気付いたりしながら『なぜ』を追究して学び、自立的にリサーチクエスチョンを設定できるようにする。」としている。このことから、自ら課題を設定する力の育成につながる課題がどのように扱われているか、という視点で質的な調査をする。
- b 「基本方針」の「1（2）教育方針」の一つとして、「日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。」としている。このことから、日本の伝統・文化がどのように扱われているか、という視点で質的な調査をする。
- c 「基本方針」の「7（1）カ 生活」の一つとして、「具体的な活動や体験をとおして、『考える技』、『調べる技』、『表現する技』等の自立した学習者となるために必要となる『学びの技』を継続的に学ぶ。」としている。このことから、学び方や調べ方がどのように扱われているか、という視点で質的な調査をする。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 生活

発行者の番号 略 称		巻	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出
内 容	a 自ら課題を設定する力の育成につながる課題の扱い	上巻	「はなをさかせよう」の単元では、「わたしのはなをさかせたいな。」「どんなせわがいいのかな。」「きれいにさいたよ。」など、課題の設定につながる記載がある。	「はなややさいおおきくなってね」の単元では、「はなややさいでやりたいこといっぱい。」「はじめまして口さん。」「ぐんぐんおおきくなるよ」など、課題の設定につながる記載がある。	「わたしのあさがお」の単元では、「どのたねにしようかな。」「げんきにそだってね。」「あつめがでたよ。」など、課題の設定につながる記載がある。	「きれいにさいてねわたしのはな」の単元では、「どこからめがでるのかな。」「どんなふうにおおきくなるのかな。」「どんなふうにかわっていくのかな。」など、課題の設定につながる記載がある。
		下巻	「どきどきわくわくまちたんけん」の単元では、「どんなところがあるのかな。」「どこに行こうかな。どうやって行こうかな。」「何が見つかるかな。」など、課題の設定につながる記載がある。	「わたしの町はっけん」の単元では、「春に見つけたキラリもういちど行きたいな。」「キラリ町たんけんの計画を立てよう。」「しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい」など、課題の設定につながる記載がある。	「まちたんけん」の単元では、「こんなところ知ってるよ。」「たんけん計画を立てよう。」「たくさん見つけたいね。」など、課題の設定につながる記載がある。	「まちが大すきたんけんたい」の単元では、「おすすめの場所はあるかな。」「たんけんの計画を立てよう。」「何があるのかな。どんな人がいるのかな。」など、課題の設定につながる記載がある。
	b 日本の伝統・文化の扱い	上巻	「なつがやってきた」の単元の「こうえんでなつをさがそう」では、町の様子の中で日本の伝統的な食文化の店である蕎麦屋や和菓子屋を扱っている。	「あきだいすき」の単元の「あきをみつけよう」では、日本の伝統的な祭りである、「ころもまつり」や「やつしろみょうけんさい」を紹介している。	「あそびにいこうよ」の単元の「たなばたつてしってるかな。」では、日本の伝統的な祭りである「高岡七夕祭り」を紹介している。	「きせつとなかよしはる・なつ」の単元の「なつやすみをげんきにすごそう」では、日本の伝統的な祭りである、「尾張津島天皇祭」、「八王子まつり」、「秋田竿灯まつり」を紹介している。
		下巻	「春だ今日から2年生」の単元では、「金沢百万石まつり」、「浜松まつり」、「こいのぼり」など、日本の伝統的な祭りや行事等を取り上げている。	「町のキラリをあつめよう」の単元では、訪問先として、日本の伝統的な食文化である和菓子屋を取り上げている。	「まちたんけん」の単元の「まちのきせつ」では、春は「岡田春まつり」、夏は「青森ねぶた祭」など、春夏秋冬の各地の日本の伝統的な祭りや行事等を取り上げている。	「まちが大すきたんけんたい」の単元の「わたしのまちの自まん」では、「大國魂神社」、「国営沖縄記念公園首里城公園」、「きりたんぼ鍋」など、日本の伝統的な建築物や食べ物等を取り上げている。
	c 学び方や調べ方の扱い	上巻	「はなをさかせよう」の単元で、「かあどのかきかた」や「かんさつのしかた」を記載している。また、巻末「かつどうべんりてちょう」で「かんさつしよう」や「コンピューターをつかおう」等を記載している。	「がっこうとなかよくなるう」の単元で、「はなしかためいじん」や「ききかためいじん」を記載している。また、巻末「手がみを出そう」や「どうぐをじょうずにつかおう」等を記載している。	「ものしりのうと」で観察の方法やまとめ方について記載している。巻末「まなびかたずかん」で、「みみやはなやてをつかたしかめる」等を記載している。	「きれいにさいてねわたしのはな」の単元で、「さわる」、「くらべる」等を記載している。巻末「学びのポケット」で、「いろいろな見かたやかんがえかた」、「きろくしよう」等を記載している。
		下巻	「生きものなかよし大作せん」の単元で、「生きもののかしらべよう」を記載している。巻末「かつどうべんりてちょう」で「しらべようつたえよう」、「やってみよう考えよう」等を記載している。	「小さかったころの自分に会いにいこう」の単元で、調べるときの調査方法として、電子メール、電話、手紙、会って話を聞くを記載している。巻末「かくしゅうどうぐばこ」で「学び方名人話し合い名人」等を記載している。	「わたしたちの野さいばたけ」の単元で、「ふかふかの土にするよ」等を記載している。巻末「まなびかたずかん」で、「よそうする」、「くふうする」等を記載している。	「まちが大すきたんけんたい」の単元で、「よそうする」、「聞く」、「かく」等を記載している。巻末「学びのポケット」で、「つたえ合うとき」、「みんなの考えを出し合うとき」等を記載している。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 生活

発行者の番号 略 称		巻	26 信教	38 光村	61 啓林館
内 容	a 自ら課題を設定する力の育成につながる課題の扱い	上巻	「わたしのあさがお」の単元では、「たねをもらったよ」、「めをだしてね」、「あつめがでた」など、課題の設定につながる記載がある。	「さいてほしいなわたしのはな」の単元では、「どうやってまこうかな。」「きのうとかわったところはどこかな。」「こまったときは、どうすればいいかな。」など、課題の設定につながる記載がある。	「わたしのはなをそだてよう」の単元では、「はやくめがでてほしいな。」「おおきなあれ。」「はなをじっくりみてみよう。」など、課題の設定につながる記載がある。
		下巻	「わたしたちがすむ町」の単元では、「みつけた」、「おみせやさん」、「こうみんかん」など、課題の設定につながる記載がある。	「まちをたんけん大はっけん」の単元では、「どこに行こうかな。」「何が見つかるかな。」「みんなにつたえたいことは、何だろう。」など、課題の設定につながる記載がある。	「とび出せ！町のたんけんたい」の単元では、「どこに行こうかな。」「何があるかな。だれがいるかな。」「どんなことを聞こうかな。」など、課題の設定につながる記載がある。
	b 日本の伝統・文化の扱い	上巻	「きせつのはな」では、日本の伝統的な祭りである「たんごのせつく」、「たなばた」、「おつきみ」などを扱っている。	「なつのはな いてみたいな、やってみよう」では、日本の伝統的な祭りである、「秋田竿灯まつり」、「阿波おどり」、「博多祇園山笠」などを紹介している。	「なつとなかよし」の単元の「たのしいなつやすみ」では、日本の伝統的な祭りである「はこだてみなとまつり」、「ひさどみぼんづなひき」を紹介している。
		下巻	「冬とお正月」の単元では、「かきぞめ」、「まゆ玉づくり」、「小正月」など、正月の伝統的な行事等を取り上げている。	「もともともちたんけん」の単元では、日本の伝統的な音楽であるお囃子を演奏する団体を取り上げている。	「とび出せ！町のたんけんたい」の単元では、訪問先として、日本の伝統的な食文化の店である和菓子屋を取り上げている。
	c 学び方や調べ方の扱い	上巻	目次では、パソコンなどで色々な植物や生き物を見ることができることを記載している。	「いきものとなかよし」の単元で、生き物の観察の視点として、「いろ、かたち」、「音」、「うごき方」等を記載している。別冊「ひろがるせいかつじてん」で、「タブレットやデジタルカメラのつかいかた」等を記載している。	「生きもの大すき」の単元で、「かんさつしよう・きろくしよう」等を記載している。巻末「がくしゅうずかん」で、「タブレットをつかおう」、「かんさつしよう」等を記載している。
		下巻	目次では、パソコンなどで色々な植物や生き物を見ることができることを記載している。	「広がれわたし」の単元で、聞き方の方法として「メールをおくる」、「電話をかける」、「ちよくせつきく」等を記載している。別冊「ひろがるせいかつじてん」で「インタビューをしよう」、「いろいろなれんらくほうほう」等を記載している。	「せかいでひとつわたしのおもちゃ」の単元で、「しゃしんやどう画で記ろくしよう」等を記載している。巻末「がくしゅうずかん」で、「しらべよう」、「記ろくしよう」等を記載している。